

バイオ・再生医療学科（昼間部3年制）

学科の特色

再生医療やゲノム医療などのバイオテクノロジーの進歩・発展は目覚しく、これらの先端医療技術による将来の医療への貢献が期待されている。そのなかでバイオ医薬品などの医薬品開発や細胞医薬品などの再生医療分野、遺伝子検査・治療技術において、動物細胞や遺伝子を取扱う実験技術者の育成が求められている。本学科はバイオテクノロジーの高度な専門技術・知識を総合的に学び、自ら考え実行・達成する力を身につけた人材の養成を目標とする。

ディプロマポリシー

本学科では、「建学の理念」と「4つの信頼」に基づき、以下の教育的な目的を掲げている。

1. 動物細胞を培養する技術と培養細胞を研究に繋げる知識と応用力を身につけること。
2. 遺伝子取扱技術と遺伝子解析技術を学び、遺伝子情報を理解・解析する知識を身につけること。
3. バイオ分析機器を扱う技術を身につけ、数値データをまとめ解析する力をつけること。
4. 企業・研究機関での研修や海外研修により先端技術を学び、実践的に応用する力をつけること。
5. 卒業研究にて専門技術や知識を総合的に活用する力をつけ、課題発見・解決の工程を理解すること。

カリキュラムポリシー

ディプロマポリシーに掲げた目的を達成するために、以下のような工夫を行なっている。

1. バイオテクノロジー専門科目および実習を、実務経験のある教員により実施することで、実践的かつ応用が可能な知識・技術を養う。
2. バイオ業界特別講義やバイオ企業連携課題を通じ、職業人としての身構え・気構え・心構えを養う。
3. 英会話やバイオ英語、英文講読、国際バイオ特論（海外研修）を通じ、国際的な視野・視点を養う。
4. 課題研究、卒業研究、論文講読、論文演習を通じて、課題発見力・解決力・計画実行力・プレゼンテーション技能を養う。

アドミッションポリシー

本学科では、ディプロマポリシーに掲げた教育的目的に望ましいバイオ実験技術者として活躍してもらうため、以下に示す姿勢や考えに共感できる人物を求めている。

1. 社会（生命・健康・生活）に貢献したいと自発的に考え、目的・目標を持つことができる人材
2. 問題・課題を解決するために率先して行動でき、周囲との協力・協働ができる人材
3. 実験技術者としての自己研鑽に励む人材

取得目標資格

- | | |
|-------------------------|----------------------------|
| (1) 上級・中級バイオ技術者認定試験 | (2) 毒物劇物取扱責任者 [国家資格] |
| (3) 危険物取扱者（乙種4類） [国家資格] | (4) 知的財産管理技能検定3級 [国家資格] など |

就職分野

再生医療、医薬品、食品、化粧品、化学、環境、動物実験、バイオベンチャー、公的研究機関 など